2026年度後期クラブリーグ（横浜）試合要項

1.チーム連絡担当者へ
チームメイトに試合内容をよく説明し、試合運営上支障のないよう注意すること。

2.試合方法
8チームのラウンドロビン1試合24ボードプレイ（12ボードでスコアをあわせペアの交代ができます）し、IMP差をWBF-VPスケール20.00でVPに換算する。
事前組み込みによる全チーム同一ハンドをプレイします。

3.順位決定
次の手順で順位を決定します。
1)獲得VPの多いチーム
2)IMPの得失点比率(総獲得IMP÷総損失IMP)。

4.試合日程
対戦表のとおり。途中の開始時間は試合の進行状況に伴って早まることがありますので余裕を持ってお越し下さい。

5.ホームチーム（対戦相手を選ぶ権利を持つチーム）とビジティングチーム
対戦表の左側のチームが「ホームチーム」、右側のチームは「ビジティングチーム」となる。「ホームチーム」に、前後半のどちらで対戦相手を選択できる権利を行使するかの選択権がある。
選択をせず試合を始めた場合は前半にホームチームが選択権を行使したものとする。ペアは前後半で自由に組み替えることができ、また同一のペアと対戦することも可能。

6.使用コンベンション
1部：リストCまで。
コンベンションカードはパートナーで同一のものを1人1部携帯。

7.アラートについて
以前はアラート禁止でしたが、連盟競技委員会通達により2025 年後期リーグよりこれを廃止することとなりました。通常通りアラートが必要です。
（しかしながら対戦相手にアラート禁止は要求できます）

8.制限時間
試合開始時間後
40分　双方のテーブルで手をつけていない前半のボードはキャンセル
120分　双方のテーブルで手をつけていない後半のボードはキャンセル
160分　終了時間（両テーブルで結果の出ていないボードはキャンセル）
相手ペアが一方的に遅い時は、ディレクターにモニターを要請すること。

9.時間に対するペナルティ
A.遅刻
遅刻の為プレイできなくなったボードに対して（3×ボード数）IMPを対戦相手に与える。30分以上の遅刻は不戦敗。
B.遅いプレイ
一方にのみ責任のある場合、制限時間でキャンセルされたボードに対して（3×ボード数）IMPを対戦相手に与える。
C.時間延長
制限時間の延長は一切行わない。
報告書提出期限にまだ結果の出ていないボードはすべてキャンセル。一方にのみ責任のある場合、キャンセルされたボードに対して（3×ボード数）IMPを対戦相手に与える。
D.その他
頻繁に遅刻・遅いプレイを繰り返すチームに対しては別途ペナルティを課す。

10.不戦勝・不戦敗
不戦勝チームには、次のうちの最大VPを与える。
1．自チームの平均VP（実際に行った試合のみが対象）
2．相手チームの平均失点（　〃　）
3．12 VP
不戦敗チームのVPは0 VP。

11.メンバーの追加・変更について
出場試合数が全試合数の**33%**未満のプレイヤーは失格する。
メンバーの追加・変更は残り試合数に関係なく可能。
但し、一度でも出場したメンバーは抹消できず、継続参加資格（前期メンバー4人）を満たしていることが必要である。
JCBL特別規定により代理プレイヤーが認められる。（別紙参照）

12.昇格および降格
このリーグの順位により2027年度前期リーグへの昇格が下記の通り決まる。
1部優勝チームは日本リーグ2部へ昇格。次回12チーム以上のご参加がありましたら1部を8チームとして順位通りに組みなおす。
日本リーグ昇格の際、メンバーを6人に絞る必要がありますのでご注意ください。

13.その他
その他要項に記載されていない運営上必要な決定が生じた場合は、
担当ディレクター・運営責任者が協議の上行う。

14.競技会費
40,000円/チーム